

「街の歌」改め

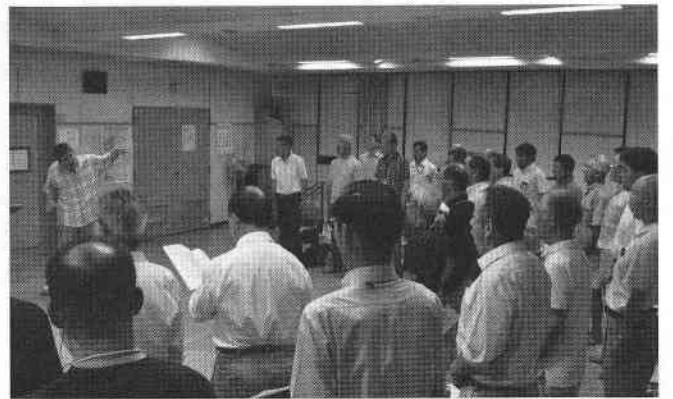
アマチュアオーケストラ & 合唱団 探訪

連載●第15回 市川男声合唱団

音楽は聴いて楽しむだけじゃない。「演奏こそわが人生!」。そんなアマチュア・オーケストラと合唱団のエネルギー・シユな活動を紹介していきます。今回は、創立20周年を迎えた千葉県市川市で唯一の男声合唱団。

♪楽しく歌う、楽しく聴いてもらう♪
のために

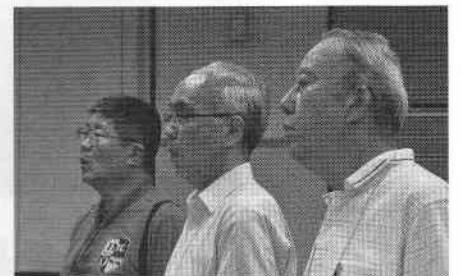
千葉県市川市。都心からJRで30分程度のこの街は、市民のオーケストラやオペラ振興会などを抱える文化振興の盛んな土地だ。この市で唯一の男声合唱団として活動するのが「市川男声合唱団（IMC）」だ。今年創立20周年を迎え、平均年齢68歳とシニア層が中心ながらもますます元気な合唱団である。前身は1961年に創設され20年ほど活動するも、団員の多忙で活動を休止し



活動は毎週金曜夕方。練習は19時からだが、18時から自主練習のために会場を確保しており、その時間になるとメンバーが集まって来る



指導は地元・市川市の中学校で教鞭をとる田中安茂氏。合唱部の指導には定評があり、コンクールなどでも目覚ましい実績をあげている。



2011年の第8回公演でとりあげたさだまさしの曲集『関白宣言』は出版もされた(鈴木憲夫編曲)。《防人の歌》等、涙しながら歌った団員もいたという

た同名の合唱団。94年に再開の声が高まり現在に至る。第1期メンバーも再び集い、公私に渡り経験と年輪を重ねた団員が和気藹々と活動を盛り上げる。合宿や演奏会などのイベント運営は各パートの持ち回り。「以前は特定の団員が運営を担当していたのですが、数年前から多くの人が参加する形に。フラットに意見

を交換できるし、それぞれの得意分野を生かせる。『皆の団』という意識も高まりました」とメンバーは語る。

自主演奏会は2年に1回。今年の11月には第9回、20周年記念の演奏会を控える。前回、2011年5月の第8回公演では、フォーク歌手さだまさし氏の楽曲を新編曲で披露した。IMC第1期メンバーにさだ氏の叔父にあたる人がいた縁で、団員が直接頼み込んで快諾を得たのだそう。公演ではさだ氏のビデオ出演という豪華な趣向もあった。

選曲は、技術的な要素も加味しつつテーマ性を重視して団員と指揮者の先生との話

方をみせてくれた。

- 団体名：市川男声合唱団（IMC）
- 創立：1994年6月[前身：第1期1961～81年。一時活動休止するも1994年に第2期として活動再開。第1期以来のメンバーも参加し、指導陣に恵まれ現在に至る]
- 指導陣：田中安茂（常任指揮者）、岩撫智子（伴奏p）ほかヴォイス・トレーナーの指導あり
- 活動：毎週金曜日19～21時（自主練習18～19時）市川公民館（千葉県市川市JR市川駅）にて。入会金：2000円、月会費：3000円。メンバーは52～82歳、平均年齢68歳のメンバー約40人で活動。隔年の自主演奏会に加え、京葉男声合唱連合の演奏会（隔年）、地元合唱祭、病院や施設でのボランティア・コンサートなどで活動を楽しんでいます
- 次回演奏会：第9回演奏会（創立20周年記念）～さらなる20年に向けて～（日時・会場）11月17日14時、市川市文化会館大ホール（千葉県市川市）〈出演〉田中安茂（指揮）、岩垂智子（p）〈曲目〉八木重吉詞・多田武彦曲「男声合唱組曲《雨》組曲」、「パーパーショップスタイル」によるアメリカ民謡《Home on the Range》《Beautiful Dreamer》他／堀口大夢詞・清水脩曲「男声合唱組曲《月光とピエロ》」より《秋のピエロ》ほか／懐かしのポピュラー曲《なごり雪》等〈入場料〉1000円。各ステージ歌唱だけでなく衣裳・演出にも力を入れています
- 団員募集：私たちと一緒に男声合唱をエンジョイし、身も心もリフレッシュしませんか？ また、アフターコースも（一杯やりながら）なかなか良いものですよ！ 是非一度、見学を兼ねて、お出掛け下さい（オーディションなどはありません）
- 問合せ：稲田（代表）090-9960-5087、またはホームページからの問合せも可能です
- URL：<http://www.ichikawamc.com/>
- *市川男声合唱団の演奏は「オントモ・ヴィレッジ」でもお聴きいただけます

し合いで決める。演奏会は趣向をこらした演出や衣裳で、客席からの反響も大きい。創立当初はミサ曲などクラシック音楽も採りあげたが、近年